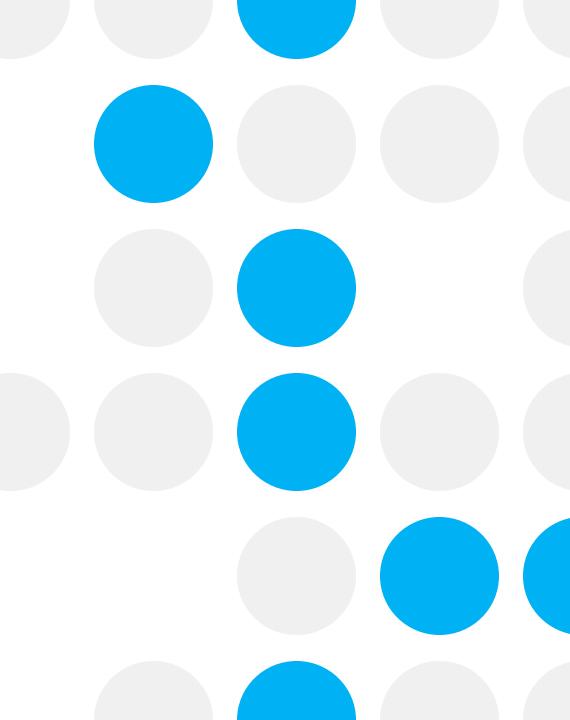
成果発表

-12班-

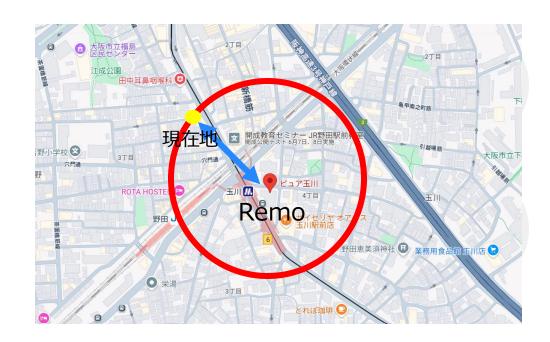


1. 作成物

システムの概要

- ・LINEから起動距離と温度を設定
- ・現在地と家との距離に応じて自動で エアコンを操作





機能

- ・Remo3の位置情報をLINEからwebを通して設定
- ・LINEから冷房を稼働する距離と温度を設定
- ・現在の位置情報を2分おきにスプレッドシートへ更新
 - →Remo3との距離が設定距離内に入ると冷房を稼働

想定する利用者

スマートフォンを日常的に使用していて、エアコンを使用する 人が対象

なかでも…

- ・家に帰った際にエアコンを手動で操作する手間を減らしたい人
- ・自宅の快適さを重視していて帰宅時すでに快適な温度になっていて欲しい人

2. デモンストレーション

使用するスプレッドシート

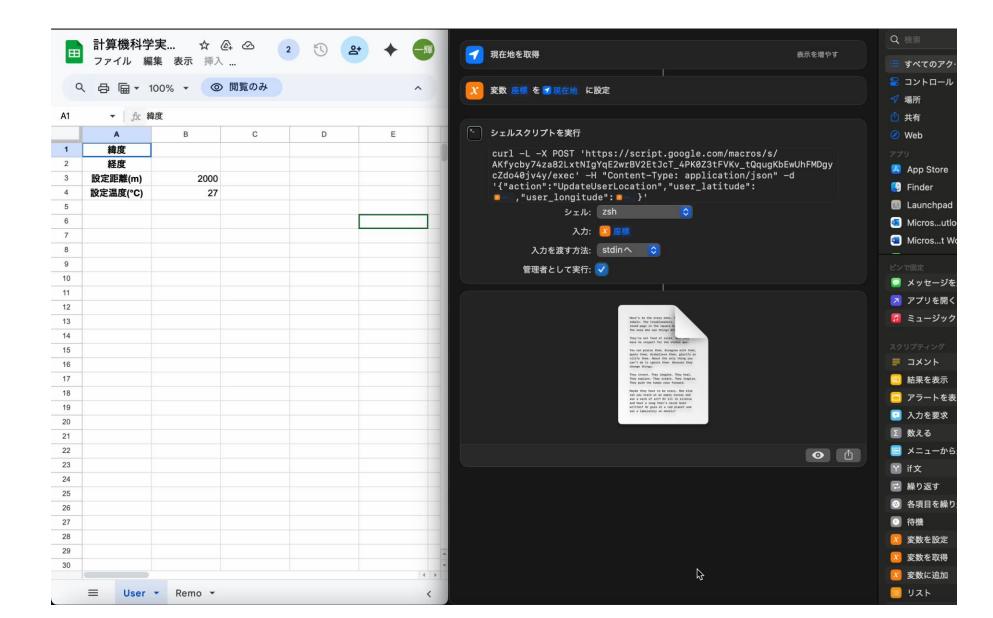
	A	В	С	D
1	緯度	34.8084979		
2	経度	135.5615789		
3	設定距離(m)	600		
4	設定温度(°C)	27		
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

	A	В	С	D
1	緯度	34.80922706		
2	経度	135.5613661		
3	気温	29.1		
4	湿度	68		
5				
6	ユーザとの距離	30904.76976		
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

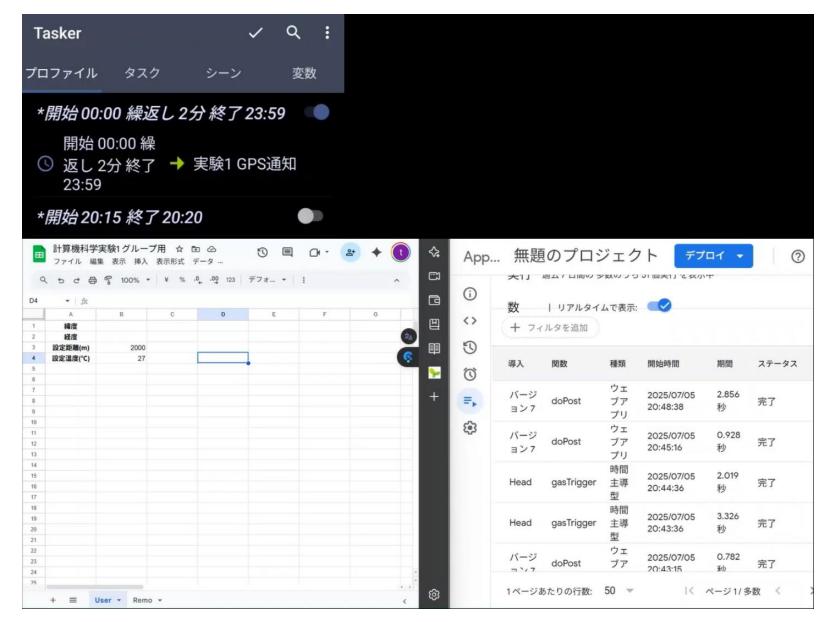
LINEを使った操作の様子



ショートカットでの位置情報取得



Taskerでの位置情報取得

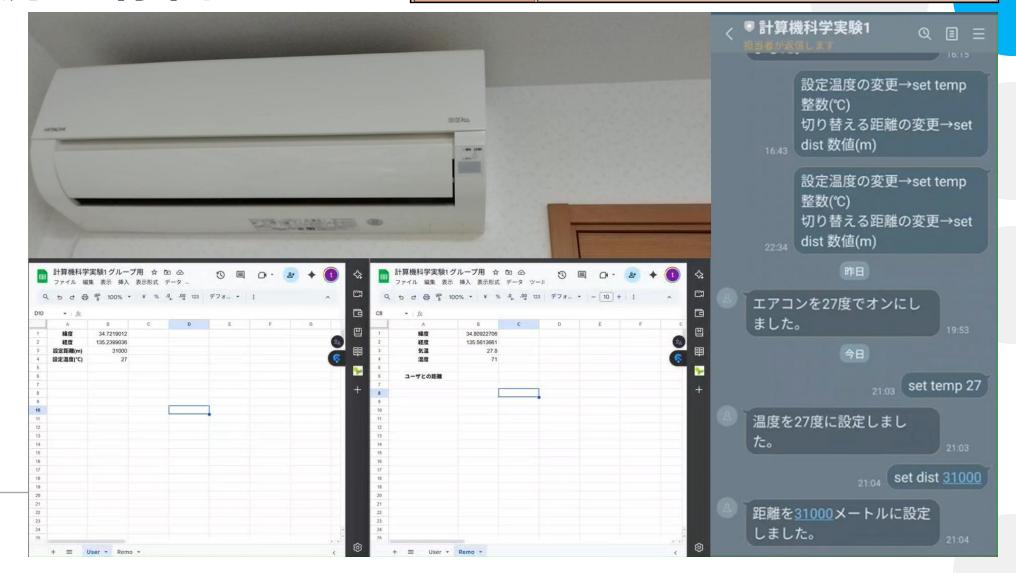


冷房の稼働

出力值

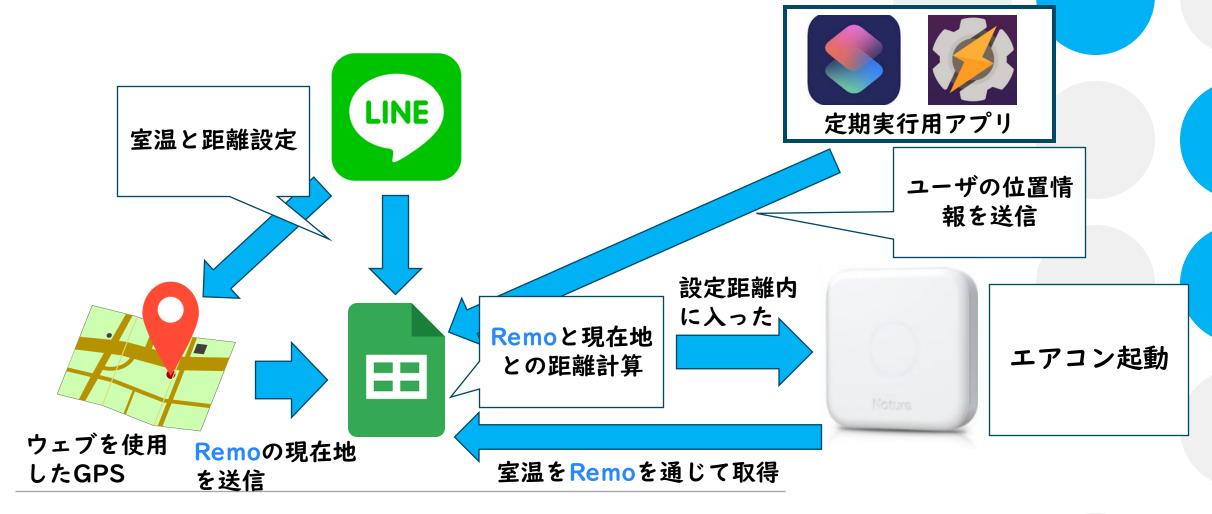
測地線長

30,979.060(m)



3. 設計

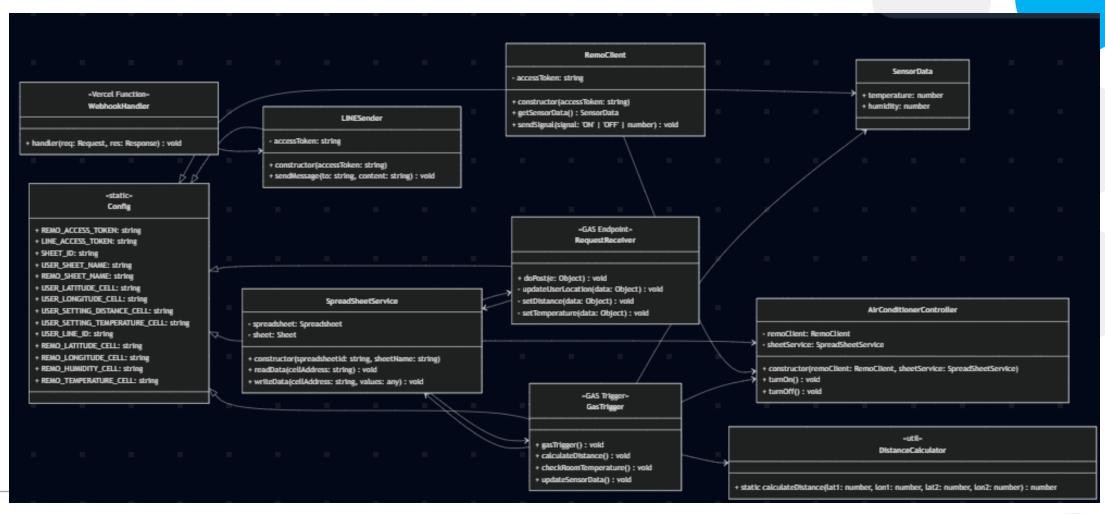
システム処理の流れ



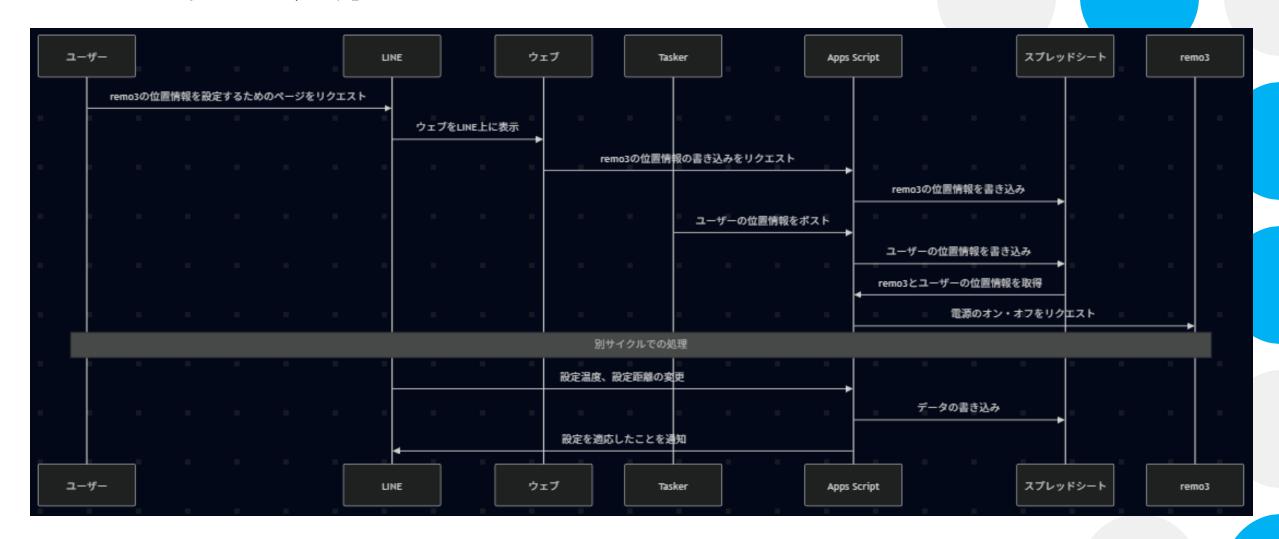
必要なモジュール

- ・スプレッドシート管理用プログラム
- ・Remo3からのデータ取得用プログラム
- ・LINE送受信用プログラム
- ・エアコン操作用プログラム
- ・ユーザの位置情報取得用プログラム(Tasker or ショートカット)
- ・Remo3の位置情報登録用プログラム(ウェブ)
- ・緯度、経度の差から距離を算出するプログラム

クラス図



シーケンス図



4. 開発計画

開発体制

開発文書責任者:森山

・要求書、設計書、プロ ジェクト計画書の管理

リーダー:金本

プログラム責任者:谷口

・各モジュールの管理

資料責任者:平井

・中間発表、成果発表資 料の管理

開発経過

タスク	担当	6/11 3限	6/11 4限	6/18 3限	6/18 4限	6/25 3限	6/25 4限	7/2 3限	7/2 4限
要求仕様設計の見直 し	全員								
スプレッドシート管 理用プログラム	平井								
Remo3からのデー 夕取得用プログラム	谷口								
エアコン操作プログ ラム	谷口								
LINE用プログラム	金本								
距離計測プログラム	平 井								
Webhook受け取り プログラム	平井								

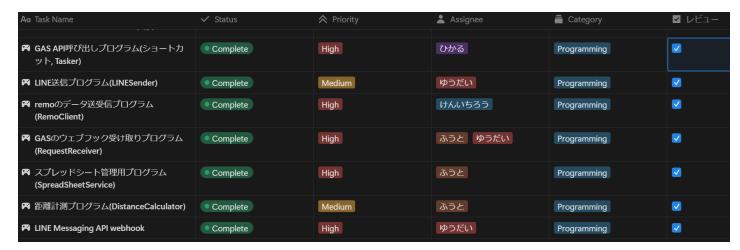
開発経過

タスク	担当	6/11 3限	6/11 4限	6/18 3限	6/18 4限	6/25 3限	6/25 4限	7/2 3限	7/2 4限
位置情報取得用プロ グラム	森山								
GAS API呼び出しプ ログラム	森山								
スプレッドシートへ の情報取得テスト	全員								
現在地とRemo3と の距離に応じたエア コンの稼働テスト	全員								
LINEによる送受信テ スト	全員								
全体システムテスト	全員								
成果発表資料作成	全員								

5. 感想·展望

感想・展望

タスクを振り分け、各タスクを管理する (Notion)ことの必要性



・システムを複数人対応にする

